

わっかカフェへようこそ

～ココロまじわるヨリドコロ～

あなたには「心のよりどころ」がありますか？

忙しい日常に追われて
誰かと「心を交流する」ことを
おろそかにしていませんか？

町の路地にたたずむこの小さなカフェには
いろんな人が訪れ、駿と桜が、出迎えます。

ここは、ココロまじわるヨリドコロ

ようこそ わっかカフェへ



20,000円(税抜) [C#7469]
字幕・副音声収録
活用の手引付き

DVD 35分

企画：東京都教育委員会 制作：東映株式会社



わっかの「わ」にはいろんな意味がある。
調和の和、つながることも輪、めぐることも環、
そして、はなしをする話

世の中にはいろんな人がいて
誤解がもとで、うまくいかないこともある。
そんな時は「わっかカフェ」で
ちょっとお茶でも飲んで、話をしよう。
肩の力が抜けて
きっと分かり合えるはず・・・



12分

インターネットによる人権侵害

三色団子の向こう側



主人公・彩乃は、初めて自分のスマートフォンを持ち、友達の舞に使い方を教えてもらい、うれしくて仕方がない。「学校でルールは習ったから大丈夫」と彩乃は言うものの、そのはしゃぐ様子を見て、少し心配になる桜。夜、ついルールを破って、自分の部屋で遅くまで友達とのSNSを続けてしまう彩乃。そして、事件が起こる・・・



誰かを傷つけないために、そして自分を守るために、必ずインターネットのルールを身に付けてから、使うようにしましょう。



おおくわ たかよ
解説者 大久保 貴世さん
(一財)インターネット協会 主幹
研究員、「こたエール」の相談員



8分

高齢者の人権

世代をつなぐ柏餅



窓際の席で和む、高齢の男性・清。そこへ、清を叱責する一人の男性。「勝手に外に出るなって言っただろ！面倒みるのは俺なんだぞ！」帰っていく二人。その様子を見ていた駿は「一人で背負い込んでるのかも。家族だけの問題なのかな」と問いかける。

実例として高齢者の地域包括ケアを目指す「暮らしの保健室」や、高齢者の人生を傾聴して本にまとめる「聞き書き」の活動取材



一人一人の高齢者の、自分で考え、自分で行動したいという思いや力を取り戻してもらう…
そのために相談にのることを大切にしています。



あきやま まさこ
解説者 秋山 正子さん
「暮らしの保健室」室長、保健師・
介護支援専門員



12分

外国人の人権

コンペイトウの来た道



桜がすり傷の手当をした外国人の少年のことから、話題が広がる商店街の三人。「私は、日本人とだけ付き合っていれば十分」三人の中で、市川だけが、外国人に対してかたくなである。そんな中、駿が、みんなにあるお茶を出す・・・

実例として市民レベルの国際交流の推進、在住外国人支援を行っている「(公財)武蔵野市国際交流協会」や、おみこしを通して外国人との相互理解の推進を続けている「国際交流のおみこしを担ぐ会」取材



外国人とまず知り合いになってみる。違いを認め合い、時には議論を戦わせ、コミュニケーションを深めていくことが、世界観を広げていきます。



めんじゅ としひろ
解説者 毛受 敏浩さん
(公財)日本国際交流センター
チーフ・プログラム・オフィサー、
新宿区多文化共生まちづくり会
議長